

Profile
全国大学高専教職員組合（全大教）は、1989年に結成されました。全国の各国立大学・公立大学・大学共同利用機関・国立高専の教職員組合の連合体で、現在は106の組合が参加しています。各教職員組合には、すべての職種の人々が加入しています。また、特定の政党支持はせず、中立の立場で活動しています。



全国大学高専教職員組合

〒110-0015 東京都台東区東上野 6 丁目 1-7 MSKビル 7 階

☎ 03-3844-1671

URL <http://zendaikyo.or.jp/> 全大教 検索

▼全大教HPから
も組合へご加入
できます



非常勤も
入れます！

組合は
入らなくても
関係ない？



国立大学等の教職員の労働条件は、労働者と使用者の交渉（労使交渉）によって決定されます。仕事や職場の問題は個人では解決できなくても、教職員一人ひとりが力を合わせれば解決出来ることが数多くあります。その活動の拠点となるのが労働組合です。

※非常勤職員のみなさんも加入して、雇止め撤廃に向けてがんばりましょう！

私たちは大学の未来について考えています

- ☞ 運営費交付金の削減を中止し、基盤的経費を増額すること。
- ☞ 国公立大学、高専、大学共同利用機関の教育と学術研究の機能を充実させること。
- ☞ 国公立大学の学費を引き下げること。また奨学金制度を改善すること。
- ☞ 人件費削減策を改めるとともに、若手教員の安定的なポストを確保すること。
- ☞ 教員の教育研究環境の改善をはかること。任期制を導入しないこと。
- ☞ 国家公務員を下回る水準にある職員の賃金を引き上げること。
- ☞ 非常勤職員の雇止めを行わないこと。また待遇を改善すること。

う<キリトリ線

組合加入申込書

年 月 日

お名前		職場	
連絡先 (TEL)		e-mail	

お問い合わせ 組合名

職場の未来をつくるのは、 私たち一人一人の教職員



全国大学高専教職員組合（全大教）





労働条件の 守り手です

仕事や職場のことで悩みや問題を感じたとき、協力して、解決へ向けた話し合いを法人と対等に出来るのが労働組合です。今ではすっかり「当然」になった働く条件も実は組合の取り組みの結果、実現したものが数多くあります。

何か困っていないか、何を感じているのか、孤立していないか、さりげなくお互いを見守り、声をかけ合う職場を、いっしょにつくりましょう！

全大教に加盟する組合は、法人との団体交渉によってさまざまな労働条件の改善を図っています。「ブラック職場をなくす」ために現場の声を届けています！



※各大学の労使交渉結果ですので全国一律ではありません。詳しくは各組合へお問い合わせ下さい。

国に要望実現を 求めます。

全大教は、それぞれの大学が自主的・自律的に、より良い教育・研究を行うことができるよう、政府、政党、国会議員等に要請や会見を行っています。



中教審での意見発表



厚生労働省要請



日本学術会議との懇談



財務省要請



文部科学省要請

職場の「おかしい!」「なぜ?」「 どうしよう?」を解決します

職場に
笑顔を



賃金・手当 を改善させます。

教職員の入試手当の新設。地域手当の支給・増額。職員の昇格・昇任基準の改善。附属学校教員の公立学校教員との給与格差を改善。技術職員などへの業務手当の新設。看護職員の夜間看護手当などの増額。



高専機構との団体交渉



休暇制度 を拡充させます。

教員の研究専念休暇制度（サバティカルリーグ）の実現。産前休暇 6 週間を 8 週間に。夏季特別休暇の新設。



大学法人との団体交渉



非常勤職員 を守ります。

フルタイム職員の正規職員化。一律雇い止めの廃止。夏季休暇・忌引き休暇・病欠有給休暇の実現。有期雇用看護師の正職員化。



雇い止めを許さない国会院内集会



組合は、職種、性別、世代のちがいを超えて教職員が集い、交流・議論、人間関係をつくる催しをやっています。

※活動内容はそれぞれの大学・高専・大学共同利用機関の組合によって異なります。



ビアパーティー



忘年会



新年旗開き



全国教職員研究集会



医科系大学懇談会



「大学・高専・大学共同利用機関ではたらくみなさんへ」